

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	05	01	02	154010	就労支援事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-6	雇用環境の充実			
	施策	1	職業人材の育成			
目的	雇用の拡大					
対象	求職者、新規学卒者、概ね35歳未満の若者、高齢者、失業者、UIJターン者					
意図	就業できる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○ジョブカフェはなまき運営 求職者に対するキャリアカウンセリング、セミナー、講習会、就職ガイダンス等の実施 <ジョブカフェはなまきの概要> 対象：原則として35歳未満の若者層の求職者 内容：キャリアカウンセリング（就職相談）、面接対策、履歴書記載指導、セミナー等 相談員：キャリアカウンセラー（常勤3人） ○シルバー人材センター支援 花巻市シルバー人材センター事業補助金の交付、シルバーワークプラザ事務室暖房機購入 ○花巻雇用開発協会支援 花巻雇用開発協会負担金の交付 ○既学卒者就業奨励金の交付 花巻市UIJターン者就業奨励金、岩手県UIJターンフェア対応 市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	就職ガイダンス開催回数	回	計画	4	4	
			実績	3	3	
②	シルバー人材センター受託事業件数	件	計画	5,000	5,000	
			実績	4,737	5,054	
③	UIJターン奨励金を活用した市内事業所数	件	計画	10	12	13
			実績	9	6	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	就職ガイダンス参加者数	人	目標	400	300	
			実績	214	205	
②	シルバー人材センター会員数	人	目標	800	800	
			実績	684	671	
③	UIJターン奨励金を活用して市内に就職したUIJターン者数	人	目標	14	16	18
			実績	10	10	
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
就職ガイダンスについては、昨今の雇用情勢の改善（売手市場）から求職者の職業の選択肢が広がっている状況の中、市内事業所へ一人でも多くの就職を目指し、北上市、金ケ崎町、奥州市と合同でガイダンスを開催したが、参加事業所のPRタイムなど新たな取り組みなどを企画したものの参加者を取り込みことができず減少につながった。また、シルバー人材センターについては、会員数は新規会員の発掘が進まなかったことなどの要因から、目標値を下回る結果となった。	
UIJターンの促進については、徐々に本制度がUIJターン者や市内事業所に浸透しており、本制度を活用した就業促進が図られているものの、目標値に届くレベルにまで至っていない。今後、制度のPRなどにより、魅力ある制度を目指し、若年層の就業促進の一助となる。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある ○ 妥当でない
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
ジョブカフェはなまきの専門相談員によるキャリアカウンセリングの実施や求人情報の提供、就職ガイダンス等の開催によって、若年者の雇用確保が図られる。また、地域社会の活性化に寄与している花巻シルバー人材センターに対する支援によって、高齢者の雇用機会の拡大が図られる。さらに、雇用開発協会の事業を支援し、UIJターン者の就業を奨励することにより、安定した雇用がはかられることから、今後も継続した就労支援が必要である。	

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣 孝史 内線 388

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	05	01	02	154010	就労支援事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	26→27地方創生前倒し含	37,870	37,763		△ 107
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	37,870	37,763		△ 107

※特定財源の内訳

--

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標
雇用環境を充実させます。

事業開始の背景・経緯
若年者の能力向上・就職促進を目的として、職場体験や職業紹介等、雇用に関連したサービスを提供することで、不景気による高い失業率を少しでも改善し、また高齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他の多様な就業の機会の確保等を図る必要性があった。

事業概要
○ジョブカフェはなまき運営
求職者に対するキャリアカウンセリング、セミナー、講習会、就職ガイダンス等の実施
<ジョブカフェはなまきの概要>
対象：原則として35歳未満の若者層の求職者
内容：キャリアカウンセリング（就職相談）、面接対策、履歴書記載指導、セミナー等
相談員：キャリアカウンセラー（常勤3人）
○シルバー人材センター支援
花巻市シルバー人材センター事業補助金の交付、シルバーワークプラザ事務室暖房機購入
○花巻雇用開発協会支援
花巻雇用開発協会負担金の交付
○既学卒者就業奨励金の交付
花巻市UIJターン者就業奨励金、岩手県U・Iターンフェア対応
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①ジョブカフェはなまき運営費 14,386千円



【ジョブカフェ運営】

常勤(3名)のキャリアカウンセラーのよる就労支援（県の就業支援員も2人常駐）

○場所：ビジネスインキュベータ内

○対象：原則として35歳未満の若年者を中心とした求職者

○主な支援内容：キャリアカウンセリング（就職相談）、面接対策・履歴書添削指導、セミナー開催
合同就職ガイダンスの開催等

②花巻市シルバー人材センター事業補助金交付 16,531千円

国庫補助金の交付要件が「設置自治体で国庫補助額と同額以上を交付」であるため、
国庫補助額と同額を交付

※ 平成29年度補助対象経費 (単位：千円)

補助メニュー	国庫補助金	市補助金額
高齢者就業機会確保事業等補助金	5,731	5,731
人件費	4,296	4,296
管理費	1,435	1,435
雇用開発支援事業費等補助金	10,800	10,800
高齢者雇活用・現役世代雇用手帳事業	5,800	5,800
地域就業機会創出・拡大事業	5,000	5,000
計	16,531	16,531

③花巻雇用開発協会負担金交付 774千円

管内産業界が必要とする新規学卒者等の労働力確保と定着、及び中高齢者の雇用安定促進
と安全就労のために必要な事業を行い、福祉向上と産業の発展に寄与

④既学卒者就業奨励金交付 5,500千円

UIJターン者の就業を奨励するため、UIJターン者本人とUIJターン者を雇用した事業主に
補助金を交付

・UIJターン者(本人) 250千円×10人

・UIJターン者を雇用した事業主 500千円×6事業所

⑤その他 572千円

9節 125千円 (岩手県U・Iターンフェア 東京 2回×2名)

12節 271千円 (ジョブカフェ電話料、セミナー等案内郵送料)

18節 176千円 (シルバーワークプラザ事務室暖房機)

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	05	01	02	154020	技能人材育成事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-6	雇用環境の充実			
	施策	1	職業人材の育成			
目的	南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成、技術職の人材育成					
対象	南部杜氏協会の会員、技能職種の職業訓練を必要とする者					
意図	酒造技術が伝承され、技能職種人材の雇用促進が図られる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 酒造技術者育成支援 南部杜氏協会が実施する杜氏講習会及び杜氏後継者育成事業に係る事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 南部杜氏協会支部支援 南部杜氏協会各支部に対する事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 花巻職業訓練協会支援 花巻職業訓練協会が実施する技能職種人材の育成に係る事業補助金の交付						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	酒造大学修了生	人	計画	30	30	
			実績	24	27	
②	長期訓練科目数	科目	計画	4	4	
			実績	4	5	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	花巻市内の杜氏資格選考試験合格者数	人	目標	1	1	
			実績	0	0	
②	長期訓練受講生	人	目標	20	20	
			実績	16	15	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/>	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
出稼ぎ労働者の現状は、杜氏の就業形態の変化（杜氏の社員化など）や高齢化の進行などにより酒造りに従事する者が減少しているが、南部杜氏協会やその支部への補助金の交付や出稼ぎ期間中の広報誌送付などを通じ、本市の重要な文化である南部杜氏の保護・伝承に努めた。なお、杜氏資格試験を受験する者は毎年、少ないながらも存在するが、市内出身者の合格者を輩出できていない。 また、花巻高等職業訓練校が実施する長期訓練受講生は、会員企業から専門的な技術を習得させる受講生を同校へ入学させることとなっているが、昨今の人手不足や担い手の不足から十分な受講生を確保できておらず、同校が安定的に運営できるよう、補助金の交付や施設の補修などの支援を行なった。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
南部杜氏協会への事業補助金交付や育成事業に対する支援によって、南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成が図られる。また、花巻職業訓練協会に対する事業補助金交付による支援によって、職業能力開発の推進、地域産業を下支えする技能職種人材の育成が図られる。	

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣孝史 内線 388

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	05	01	02	154020	技能人材育成事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		4,109	3,799		△ 310
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	4,109	3,799		△ 310

※特定財源の内訳

--

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
雇用環境を充実させます。

事業開始の背景・経緯
南部杜氏に関しては、「出稼ぎ相談事業」（国の補助事業）として実施し、職業訓練校に関しては、技能職種人材の育成を図るために開始された。

事業概要

- 酒造技術者育成支援
南部杜氏協会が実施する杜氏講習会及び杜氏後継者育成事業に係る事業補助金の交付
- 南部杜氏協会支部支援
南部杜氏協会各支部に対する事業補助金の交付
- 花巻職業訓練協会支援
花巻職業訓練協会が実施する技能職種人材の育成に係る事業補助金の交付

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

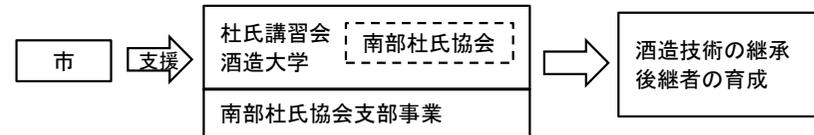
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①酒造技術者育成事業補助金 670千円

杜氏講習会補助金 270千円
杜氏後継者育成事業補助金 400千円

②南部杜氏協会支部補助金（花巻） 738千円

7支部（花巻200、大迫232、石鳥谷12、新堀29、八幡16、八重畑55、東和194）



③花巻職業訓練協会事業補助金 2,154千円

職業能力開発の推進、地域産業の下支えする技術職種人材の育成を図るため、中核的な役割を担う「花巻職業訓練校」に対し事業実施に係る必要経費の一部を支援する。

④その他事務費 237千円

11節 67千円（感謝状等消耗品、出稼ぎ労働者用市広報・市議会だより印刷製本費）
12節 170千円（花巻104千円、大迫40千円、石鳥谷17千円、東和9千円）

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	05	01	02	154050	職業人材育成事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	1-6	雇用環境の充実			
	施策	1	職業人材の育成			
目的	雇用の拡大					
対象	新規学卒者（高校生、大学・専門学校生）					
意図	就業できる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○関係機関等の連絡体制の構築 ○COC+（プラス）事業 高校生、大学生等を対象とした市内事業所説明会及び見学会の開催						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	合同研修事業の開催	回	計画	3	3	
			実績	1		
②	市内事業所説明会の開催	回	計画	1	1	
			実績	1	1	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	合同研修事業参加者数	人	目標	60	40	
			実績	25		
②	市内事業所説明会参加者数	人	目標	500	350	
			実績	321	78	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
合同研修については、受託先である職業訓練法人花巻職業訓練協会において周知を図ったが、申込状況が低調であったため中止する結果となった。 また、市内事業所説明会参加者については、市内高校生及び大学生を対象に実施したが、他行事と錯綜したことやインフルエンザによる学校閉鎖などの要因から目標値より大幅な減となったものの、参加者に事業所ブースへ可能な限り訪問いただくよう工夫を凝らし、多くの市内事業所を知っていただく機会が創出された。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
本事業への参加者からの反応は概ね好評であり、より参加しやすい環境（開催時期、時間、場所など）を整備することで、さらなる参加者の増加が見込まれる。	

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣 孝史 内線 388

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	05	01	02	154050	職業人材育成事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		482	465		△ 17
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	482	465		△ 17

※特定財源の内訳

--

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標
雇用環境を充実させます。

事業開始の背景・経緯
若者の地元定着と地域労働力の減少が懸念されていることから、市内高校生・大学生の地元企業への就業率・就業定着率の向上を図るため、関係機関等との連携体制を構築し、就業促進・定着促進事業を実施する。

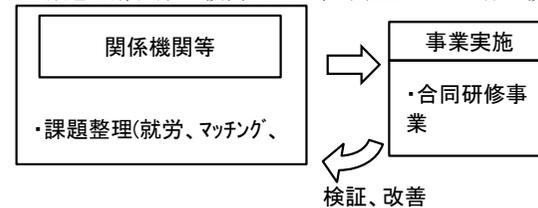
事業概要
○関係機関等の連絡体制の構築
○COC+ (プラス) 事業
高校生、大学生等を対象とした市内事業所説明会及び見学会の開催

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

市内高校生・大学生の地元企業への就業率・就業定着率の向上を図るため、関係機関等との連携体制構築、就業促進・定着促進事業を実施する。

- 関係機関等の連携体制の構築（ゼロ予算事業）
 - ・就業者の定着支援を目的とした、関係機関等の情報交換の場を設定
 - ・課題と解決策の検討のほか、下記2・3の内容の検討、及び実施後の検証を行う



- COC+事業 465千円
 - 市内事業所説明会

内容：事業所毎のブースを設置し、高校生・大学生が自由にブースを訪問し、各事業所から説明（会社概要、製品、技術等）を受ける。

日時：平成30年3月9日（金） 14:00～16:30

会場：なはんプラザ

参加企業数：市内企業28社

参加者：市内高校2年生 78名
 - 市内事業所見学会（バスツアー）

内容：貸切バスを利用し、市内企業を学生が訪問し、工場等を見学する。

期日：平成29年8月23日（水）

会場：花巻市内3社（榎花巻バイオマスエナジー、花巻市役所、志戸平温泉㈱）

参加者：岩手大学学生24人、教職員3人